

現状・課題

- 低迷する大阪府の健康指標
健康寿命 …男性：44位、女性：45位（H22）
特定健診受診率…40位（H24）
がん検診受診率…胃がん、乳がん、肺がん、大腸がん：47位（H25）
子宮がん：46位（H25）
- 超高齢社会への対応
高齢者の社会参加と介護予防の促進が急務
- 成人の46%が健康づくり無関心層（健康意識に関する調査：H26厚生労働省）
- 増え続ける医療費
医療保険制度を将来維持するためには医療費の伸びの抑制が必要
国保は平成30年度に市町村から都道府県へ移管
- 第2次大阪府健康増進計画（計画期間：H25～H29）
『健康寿命の延伸』を目標に設定
- 大阪府市医療戦略会議
戦略目標：府民行動変革を促し、健康状態を底上げする
戦略行動：行動変革を促す強い動機付けや機運醸成などの働きかけ
- ◎ 健康マイレージには無関心層を振り向かせる効果（市町村聞き取り調査）
- ◎ 健康的な生活習慣は健康寿命延伸に寄与（大阪大学大学院研究報告）

目標

- 市町村支援を実施することにより、平成29年度までに事業実施する市町村を30に増やす
- 平成29年度までに大阪府の特定健診受診率を6%向上させる（全国平均を超える）

事業内容

- ◎ 健康マイレージ事業を導入する市町村への支援
 - 1 健康づくりを行った住民に特典を付与する事業の実施
 - ・「特定健診」「がん検診」受診のきっかけづくり
 - 2 健康づくりを継続させるための事業の実施（メニュー事業）
 - (1) 情報：継続受診を促す受診勧奨メールの発信
 - (2) 運動：フィットネスクラブ等との連携
 - (3) 食事：『うちのお店も健康づくり応援団の店』等との連携
 - (4) 『スマートエイジング・シティ』と連携したモデル事業
：マイナンバーカード等ICTを活用した健康づくり
- ◎ 補助対象 大阪府域の市町村
 - ・1の事業に加え、2のメニュー事業から少なくとも一つを実施する（2(4)の事業だけの単独実施は可）
 - ・1の事業を先行実施している市町村は事業拡充に要する経費を補助対象とする
- ◎ 補助率
 - ・特定健診受診率が全国平均を上回る市町村：1/3
 - ・特定健診受診率が全国平均を下回る市町村：1/2
 - ・メニュー事業：1/2
 - ・補助対象事業費には市町村人口規模により上限額を設定

補助対象事業費（上限） 単位：千円

人口規模	1 必須事業		2 (1)～(4)メニュー事業			
	新規	拡充	①	②	③	④
60万以上	6,000	3,000	500	500	500	1,000 ×2か所
30～60万	4,000	2,000	500	500	500	
20～30万	3,000	1,500	500	500	500	
20万未満	2,000	1,000	500	500	500	

- ◎ 補助期間 補助対象の各市町村における事業期間は2年間に限定

短期的効果

- 特定健診、がん検診の新規受診者を増やす
- 健康づくりへの関心を継続させ、行動変容を促進する

長期的効果

- 生活習慣を改善する住民が増えることで生活習慣病を減らす
- がんの早期発見によりがんの死亡率、がんに対する医療費を低減する